

第40回柴田学区交通安全パレード



【柴田学区】

■世帯数：2,162 世帯

■人 □：4,431 人

■面積：1.020 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・地域住民の交通事故防止を目的として子どもから高齢者まで幅広い層の住民 400～500 人の参加者が学区内の幹線道路を、交通安全を呼びかけながらパレードする。
- ・学区を南北にわけ、一年おきにそれぞれ約 2km の行程を 1 時間半ほどかけて行進する。
- ・パレードは、「小学生（鼓笛隊と家族）」→「チビッコ警察と家族」→「交通安全少年団と家族」→「老人会」→「各町内住民」→「大学生」の順にし、行進のスピードが遅れないように工夫した。
- ・パレードの写真撮影は 2ヶ所の安全な所だけとしている。
- ・グループごとに参加者氏名を記入することで、参加人員数の重複や不足を防止し、飲み物・記念品などの購入の無駄を削減した。

【住民への PR 方法】

チラシの各戸配布。実行委員がマニュアルに沿って各町内ごとに参加者個人の名を記入して募集する。

【アピールポイント】

平成 24 年度で第 40 回と、永年継続された活動でありながら、毎年 400～500 人の参加者が途中事故も無くパレードを成功させている。

2 きっかけ、背景

交通事故の発生を抑止するとともに、地域住民の交通安全意識の高揚を図るため、小学生から高齢者まで広い年齢層の学区民上げての、交通安全パレードを約 40 年継続して行っている。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、女性団体・女性会、子ども会、老人クラブ、スポーツ推進委員 計約 50 人

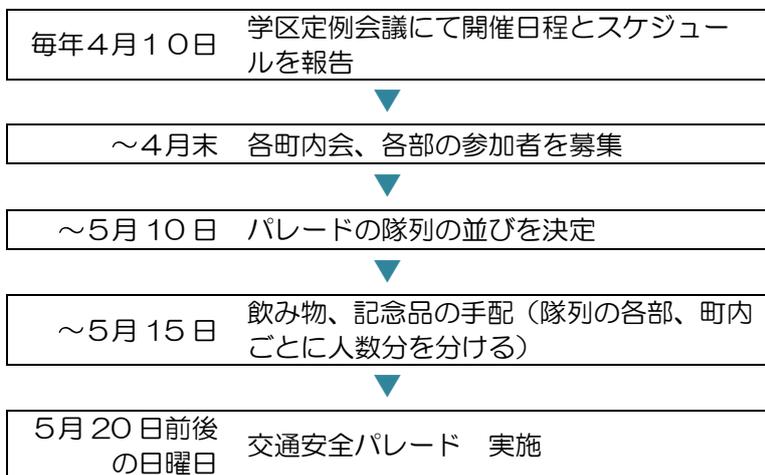
(2) 他団体との協力

平成 22 年度より大同大学吹奏楽部約 20 人も参加

(3) 運営協力

平成 22 年度まで学区の交通安全部長が計画から実施まで進めていたが、運営方法をマニュアル化し、新年度に新人の実行委員でも5月中旬の実施をスムーズにできるようにした。

4 実施のスケジュール



5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・参加者が増加し、住民の交通安全意識も高まっている。
- ・新一年生の子供も達がチビッコ警察官の制服を着て交通安全指導を受けたり、パトカーや白バイに乗って撮影したりして楽しい一日となった。

(2) 苦労した点

- ・転出世帯の増加や高齢化により参加者の顔ぶれが毎年同じになりつつある。
- ・幹線道路を横断するとき、一時的に信号機を停止して一般車両（仕事中的トラックなど）に迷惑をかけているが安全第一とする。

(3) 今後の課題・展望

- ・担い手の世代交代や他団体との協力を進め、活動を継続する。学区で開催する他の行事においてもマニュアル化を進め、無駄をなくした取組みとしたい。

(4) メッセージ・アドバイス

- ・隊列前部はまとまりが良いが後部になると列が乱れる傾向にある。